

高めよう! 「見守り力」

基礎編 4チャプター分け

エピソード

1 約6分

小さな気付きが第一歩

故郷の母が消費者被害にあっている?!

主人公のコンビニ店長は町内会長から見守りのポスターの掲示を依頼されましたが、他人事でした。そんな矢先、故郷の母が消費者被害にあっているらしいと、実家のご近所から連絡が入ります。



エピソード

2 約7分

「気付き」を「つなぐ」

母は見守りのおかげで、被害が回復できました。

主人公は母が気に入り帰省。近所の人、ヘルパー、民生委員、地域包括支援センターの気付きによって、消費生活センターに相談することができ、母の被害の一部が回復されました。主人公は、このことから、見守りの重要性を知ります。



エピソード

3 約8分

「声かけ」は小さな勇気から

勇気を出して声をかけ、被害が防げた!

主人公は、ATMの前でまごつく高齢者に気付きます。迷った末、勇気を出して声をかけました。高齢者は最初は怪訝な態度でしたが、騙されていたことに気がつき、被害にあわずに済みました。



エピソード

4 約5分

みんな消費者、みんなで見守ろう

知的障害者・発達障害者の場合

常連客である障害者施設職員と軽度の知的障害者が、店内の高齢者の見守りのポスターを見て、体験を語り始めます。これを聞き、コンビニ店では、障害者も見守りが必要と気付きます。



応用編 Q&A 3チャプター分け

1 高齢者・障害者の消費者トラブルの現状と特徴 約4分

- Q1. 高齢者・障害者の消費者トラブルは増えているのですか?
- Q2. 高齢者が悪質商法に狙われやすいのはどうしてですか?
- Q3. 障害者の消費者被害には、どのような特徴がありますか?

2 高齢者・障害者の消費者被害と見守り 約7分

- Q4. どのような様子に気付けばよいのですか?
- Q5. 「声かけ」はどのようにすればよいのですか?
- Q6. 消費生活センターへのつなぎ方は?

3 消費生活センターの役割 約3分

- Q7. 消費生活センターはどんなことをしてくれるのですか?



7チャプターに分かれていますので、必要なところだけを見ることができます。「字幕あり」「字幕なし」の選択ができます。